

これまでの主な意見

I. 背景

1. 留学生の受入れ・派遣や教育の国際化を巡る現状
2. これまでの成果と課題
3. 留学生の受入れ・派遣や教育の国際化の意義
 - (1) 外国人留学生受入れの意義
 - ・ 留学生の受入れによる、人材獲得（経済的なメリット）、親日派の育成（外交的なメリット）、人道的な価値の体現、開発途上国への技術移転等国際社会への貢献
 - ・ 多文化・多言語の学習環境による教育効果・価値の創出
 - (2) 日本人学生派遣の意義
 - ・ 地域の成長・発展を支える人材から世界を舞台に活躍する人材まで、厚みのある多様な人材の育成
 - ・ 多様な考え方や高度な知識を身に付けるための日本人学生の留学促進
 - ・ 社会課題を自分事として捉える主体性、異文化を理解して相手の立場を理解する共感力、多様な人を巻き込める行動力の育成
 - ・ 好きなことへの情熱やハングリー精神の涵養
 - (3) 教育の国際化の意義
 - ・ 国際通用性のある人材輩出のための教育の推進
 - ・ 他者との協働や多様な価値観の中で解決策を見出す能力の育成
 - ・ 大学における研究力の向上

II. コロナ後のグローバル社会を見据えた人への投資の在り方

1. 基本的考え方
 - ・ グローバル社会における新しい資本主義を実現するための人への投資の推進
 - ・ 一人一人の生産性の向上と、海外からの高度人材の受入れ
 - ・ 緊迫の度合いを増す国際情勢の下、日本の国益を維持・増進するための国力の向上
 - ・ 日本の理解者を増やし、自国の魅力や考え方をグローバルに発信する必要性

- ・ 国際研究ネットワークの構築や国際産学連携の推進に向けた海外留学の促進
- ・ 博士にシフトしつつある高度人材の獲得競争の激化への対応
- ・ 国内市場の縮小や人材不足により、海外展開に対応したグローバル人材の確保が課題
- ・ 優秀な留学生の日本社会への定着度向上、外国人留学生等とのネットワークの拡充・進化を通じた友好親善関係の強化
- ・ 外国人留学生の日本企業での就職促進に向けた、教育政策、雇用政策、入国管理政策の一体的な推進
- ・ 産学官を通じた高度外国人材の確保、日本の理解者・サポーターとなる人材の育成
- ・ 多様性・包摂性のある持続可能な社会の構築
- ・ 東京一極集中でなく、全国各地での取組推進、地方での人手不足解消に資する取組を通じた地方創生

2. 今後の方向性

(1) 外国人留学生の受入れ

- ・ 留学生比率の低い大学学部段階や、高校段階における留学生の受入れ促進
- ・ 社会のニーズや国際動向等を踏まえた受入れ地域や分野の重点化
- ・ 国ごとのアドミッション戦略に基づく留学生の受入れの推進
- ・ 経済安全保障に配慮しつつ、学部・大学院に重点を置いた理工系分野の留学生の受入れ促進
- ・ 理工系に加え、日本の理解者を増やす観点からの日本社会や文化の研究など戦略的分野への支援の重点化
- ・ 大学院への進学を含めた国内定着率の向上
- ・ 日本語を覚え、日本語で学び、日本語で働く一人一人のキャリアパスやセレクションプロセスとしての位置づけ
- ・ 優秀な留学生の受入れを通じた避難民の支援

(2) 日本人学生の派遣

- ・ 留学のメリットの再定義
- ・ 短期留学だけでなく、中長期での留学の促進
- ・ 意欲ある大学生・高専生の海外派遣促進
- ・ 日本人学生が留学する際の大学院等での学位取得の推進
- ・ 最先端の研究や研究成果の社会実装を目指した、理系学生をはじめとした大学院生の海外留学の促進

- ・ 産学連携による留学促進の取組強化
- ・ 女性の社会参画促進に向けた取組の推進

Ⅲ. 具体的方策

1. コロナ後の新たな留学生受入れ・派遣方策

(1) 外国人留学生受入れ方策

①日本への留学機会の創出

- ・ リクルーティングから帰国後のフォローアップまで日本への留学サポート体制の実現
- ・ 留学生の受入れに関する情報が一元的に得られるポータルサイトの構築
- ・ 高度人材の卵を生み出すための、オンラインや現地での日本語教育の推進、海外での日本学習者の増加に向けた動機付けの促進
- ・ 留学生受入れ促進プログラムの推進
- ・ 各国大使館・領事館におけるグッドプラクティスの共有や、現地進出企業、国際交流基金等と連携した戦略的な広報・情報発信の充実
- ・ 支援の必要な留学生への奨学金制度の在り方

②入学段階での要件・手続きの柔軟化

- ・ 学部段階における優秀な留学生の定員枠の緩和
- ・ 入学・卒業時期の多様化・柔軟化
- ・ オンライン等を活用した渡日を必要としない入試など、渡日前入学許可の推進
- ・ 高等専修学校へ留学する際の日本語能力要件の見直し
- ・ 非漢字圏の学生増や日本語能力を求める企業の実態等を踏まえた日本語教育機関における在籍期間の見直し

③国内大学の教育研究環境の質及び魅力の向上

- ・ 留学生から選ばれるようなソフトとハードを併せた大学自らの魅力向上
- ・ シームレスな国際間の移動が可能となる修業時期の柔軟化
- ・ 受入れの質向上を図るために必要な対価の徴収としての留学生の授業設定の柔軟化
- ・ 英語による授業、英語で学位取得できるコース設置推進
- ・ 専門組織の整備、生活支援からメンタルケアを含む語学力を有する対応スタッフの充実など、大学全体での留学生をサポートする体制の整備とその支援

- ・ 留学生のメンタルケアについて、多言語による相談窓口の設置など専門家への相談が可能となる体制づくりの推進
- ・ 大学等での日本語教育の充実、すべての大学の日本語教育を担える大規模センターの設置
- ・ 日本企業を変容できるような人材育成プログラムの策定
- ・ 自治体と地元大学等との連携による受入れから就職までの留学生への支援の促進
- ・ 分野が融合した活動やスタートアップを促進するキャンパス・施設や世界から優れた学生や教員を呼び込むための居住環境の充実
- ・ 銀行口座開設や不動産契約等における負荷の軽減など留学生を受け入れるための環境整備の推進
- ・ 日本独自の大学の魅力を測る指標の作成と大学評価の在り方の見直し、日本の教育ブランドの発信強化
- ・ 先進国・途上国を問わない脱炭素を支える人材育成への支援

④適切な在籍管理の徹底、技術流出防止対策の強化

- ・ 教育機関における留学生の在留管理責任明確化のためのガイドライン作成

(2) 日本人学生の海外派遣方策

①高校から大学院段階までを通じた日本人学生派遣の推進

- ・ クォータ制の導入促進など学部を4年間で卒業できる環境の整備促進
- ・ ロールモデルとなる者やインフルエンサーによる発信を含め、SNS等を効果的に活用した留学の意義、奨学金制度の広報強化
- ・ 海外の生の声や奨学金など留学のメリットについて、情報格差・経済格差・地域格差なしにアクセスできる情報提供の促進
- ・ 海外留学支援制度卒業生のネットワーク構築、活躍事例の収集発信によるブランド力強化や寄附も活用した持続的な経済支援の仕組みの構築
- ・ 国や自治体、民間の奨学金制度の在り方を含めた資金面の手当て
- ・ 官民連携による「トビタテ！留学 JAPAN」の更なる推進
- ・ より多くの学生に国際教育を教授するためのオンライン教育の推進、語学学習得、異文化理解等の各種プログラムの内容の体系化
- ・ 海外大学のオンライン授業の国内での単位化促進
- ・ 在外公館におけるネットワーク形成支援の促進、在外日本企業との協働支援
- ・ JSPS、JETRO、JICA等の海外支局による大学院生等への研究支援
- ・ 教育機関や地域コミュニティを中心とした社会全体での雰囲気醸成

- ・ 農業を学ぶ学生等の留学・国際交流活動の推進による、我が国の農業をけん引する国際感覚を備えた人材の育成・確保

②初等中等教育段階における英語教育・国際理解教育の推進

- ・ 高校段階からの留学促進
- ・ 国際バカロレアなどの国際的な教育プログラムが履修できる教育環境の整備の推進
- ・ 初等中等教育段階での国際的な感覚の育成や英語力の強化、体験型のオンライン留学の機会の拡充

2. 留学生等の卒業後の活躍に向けた環境整備

(1) 外国人留学生等の高度専門人材の定着率の向上

①留学生の就職促進に向けた取組促進

- ・ 来日前からのキャリアの予見可能性が高まる環境の整備と発信
- ・ 渡日前からの就業慣行や就職活動に関する情報提供
- ・ 高度外国人材活躍プラットフォームの検証・改善
- ・ 留学生の起業促進支援
- ・ 自治体と大学等との連携による受入れから就職までの留学生への支援の促進【再掲】
- ・ 高度外国人材を積極採用する企業を評価する仕組みの導入
- ・ 留学生向けインターンシップの促進
- ・ 各国大使館・領事館におけるグッドプラクティスの共有や、現地進出企業、国際交流基金等と連携した戦略的な広報・情報発信の充実【再掲】
- ・ 在外公館におけるネットワーク形成支援の促進、在外日本企業との協働支援【再掲】
- ・ 外国人留学生と地域との交流推進

②企業風土の改善、環境の充実

- ・ 外国人留学生の地元企業への就職・定着促進のための産学官コンソーシアムの設立、高度外国人採用・定着に係る伴走型支援
- ・ 企業における多様な価値観を認め合う文化の醸成
- ・ 企業における高度人材の採用促進
- ・ 留学生が活躍するための企業の環境や雇用慣行の見直し
(使用言語、残業時間の多さやヒエラルキーなどの企業文化、ジョブ型の人事システム)
- ・ 採用後のサポート体制の充実(外国人社員相談窓口の設置、外国人社員ネットワークの構築、新入外国人社員の受入れ研修など)

③関連する在留資格の運用の見直し

- ・ 高度外国人材の在留資格制度について世界に伍する水準への改革
- ・ 高度専門職の在留資格における認定基準の見直し
- ・ 博士号を取得した留学生の在留資格の取得の円滑化
- ・ 国家資格の取得や高度な専門的知識・技能を習得した大学、専門学校卒の留学生の在留資格の見直し、秋学期卒業、春学期入学の場合の進学待機期間や就職活動に必要な在留資格や、配偶者などの在留資格の在り方
- ・ 非漢字圏の学生増や日本語能力を求める企業の実態等を踏まえた日本語教育機関における在籍期間の見直し【再掲】
- ・ 高度外国人材の永住権取得要件の見直し
- ・ DX化の促進など、在留資格の手続きの利便性向上と審査の迅速化
- ・ 人道的な観点からの在留資格・法的地位の柔軟な対応

(2) 日本人学生の就職円滑化に向けた環境整備

- ・ 通年採用や秋季採用の促進など、日本人学生の海外留学後の就職円滑化のための環境整備
- ・ 海外での留学中に帰国することなく参加できる現地でのキャリアフォーラムやオンラインでの就職活動の促進
- ・ 就職活動時期の柔軟化など海外留学後の日本人学生の就職活動の在り方
の見直し
- ・ 公務員・教員採用時の留学経験の積極的な評価
- ・ 留学を通じて得られた知識・スキル等を評価する企業におけるジョブ型人材マネジメントの推進

3. 教育の国際化の推進

(1) 国内大学等の国際化

- ・ 多様な価値観を認め合う環境の醸成をはじめとした国内大学の国際化の促進
- ・ 自律的かつ持続可能な形で国際化を進める大学経営の推進
- ・ ジョイント・ディグリー及びダブル・ディグリーの効果検証と更なる推進
- ・ 海外大学との単位互換制度、大学間交流協定締結の促進
- ・ 英語による授業、英語で学位取得できるコース設置推進【再掲】
- ・ 外国で学位を取得した教員や外国語による授業の増加、海外大学のオンライン授業を履修した際の単位認定の促進
- ・ スーパーグローバル大学創成支援事業で築いた日本の大学の魅力とブランドの継承

- ・ 中核となる大学と地域の連携による留学生・高度人材の育成・確保
- ・ 教育の多様化・高度化に向けた研究者交流の促進
- ・ 国際共同研究体制の整備や国際学会の誘致推進
- ・ 外国人教員・学生の住環境の整備や確保のための支援促進
- ・ 初等中等教育段階での国際的な感覚の育成や英語力の強化、体験型のオンライン留学の機会の拡充【再掲】
- ・ 総合的な探究の時間等において、ギガスクール構想による端末も活用した生徒間のオンライン交流の促進
- ・ 日本人教員の留学促進
- ・ 国際バカロレアを活用した大学入試の促進
- ・ 国際通用性をもった教育手法（DX 活用を含む）や質保証の柔軟化
- ・ 国際標準教育分類における高度専門士の位置づけの見直しと国家学位資格枠組みの確立

（２）外国人材の活躍に向けた教育環境整備

- ・ 高度人材にとって魅力的な子供の教育環境の整備
- ・ インターナショナルスクールの在り方の見直し
- ・ 日本語力不足により学習活動に支障が生じている子供への学習支援（JSL：Japanese as a Second Language）の取組推進
- ・ 本人・家族の日本語教育環境の充実、日本語教育機関の質向上
- ・ 地方公共団体が在留外国人に対する情報提供及び相談を行う一元的な窓口の設置促進
- ・ 行政機関等での通訳者の配置など社会全体での外国人受け入れ態勢の整備

（３）国内大学の海外分校や高専をはじめとする日本型教育の輸出

- ・ 国内大学の海外の実質的な拠点（海外分校など）の展開拡大や高専、特別活動をはじめとする日本型教育の輸出、教育に関する協力協定の締結